札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

調査の概要

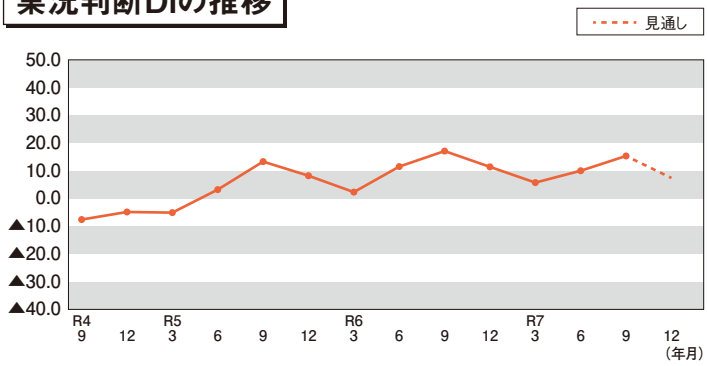
1. 調 査 時 期 ： 令和7年9月1日～5日
2. 調 査 対 象 ： 札幌圏（札幌、石狩、空知）　後志圏（後志、渡島）
3. 対象企業数 ： 当金庫のお取引先340社
   回答数340社（札幌圏235社・後志圏105社）回答率100%
4. 分 析 方 法 ： DIを中心とした分析。
   DI=「良い・増加・上昇した先の割合」－「悪い・減少・下降した先の割合」
   DI>0→良い・増加・上昇　DI<0→悪い・減少・下降
5. そ　の　他 ：「不透明感が増す社会情勢と中小企業経営」

※DI（景気動向指数）値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

業況判断DIの推移

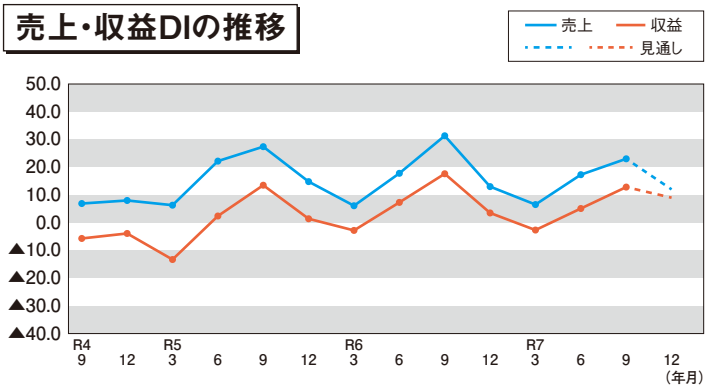


コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は15.2と前期から5.2ポイント上昇した。
・来期は今期から7.8ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

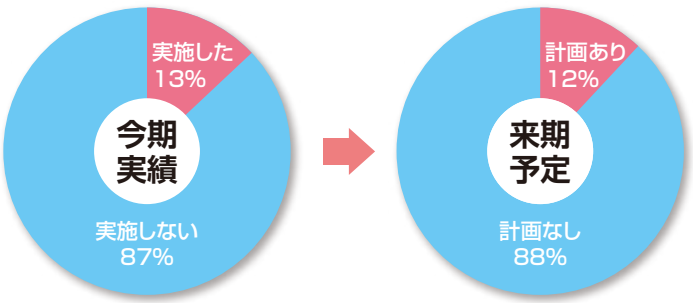
○売上DI～上昇↑

・今期は22.9と前期から5.6ポイント上昇した。
・来期は今期から10.9ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は12.7と前期から7.6ポイント上昇した。
・来期は今期から3.7ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

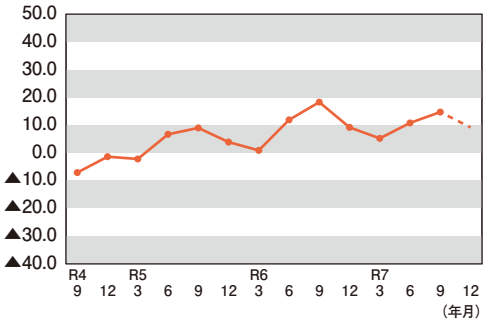
経営上の問題点（複数回答）	今期	前期
人手不足	35.3	32.1
原材料高	27.4	28.2
利幅の縮小	22.9	－

(%)

当面の重点施策（複数回答）	今期	前期
経費を節減する	50.3	51.8
人材を確保する	34.4	32.6
販路を広げる	27.9	29.4

札幌圏

業況判断DIの推移



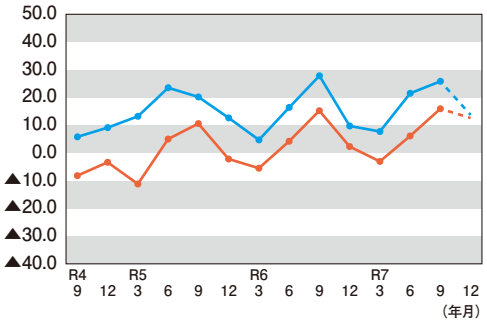
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は14.6と前期から3.8ポイント上昇した。

・来期は今期から5.4ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は25.7と前期から4.2ポイント上昇した。

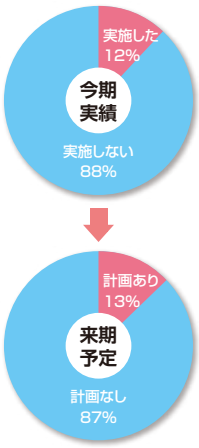
・来期は今期から12.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は15.8と前期から9.7ポイント上昇した。

・来期は今期から3.2ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

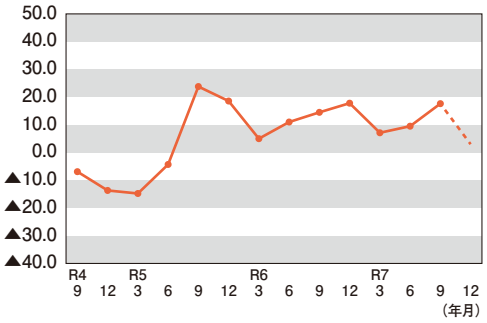
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	33.2	28.5
原材料高	24.3	25.1
人件費の増加	24.3	ー

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	49.4	51.1
人材を確保する	31.5	29.4
販路を広げる	30.2	30.2

後志圏

業況判断DIの推移



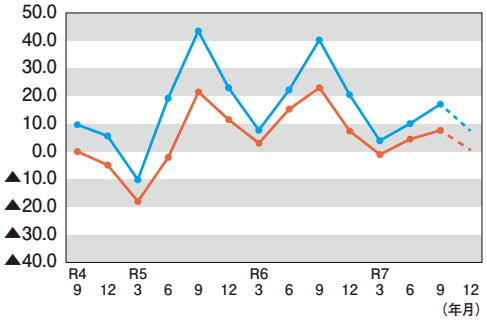
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は17.5と前期から8.0ポイント上昇した。

・来期は今期から14.5ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は17.2と前期から7.3ポイント上昇した。

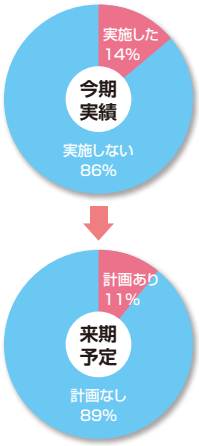
・来期は今期から9.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は7.5と前期から3.0ポイント上昇した。

・来期は今期から7.0ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	40.0	40.0
原材料高	34.3	35.2
利幅の縮小	26.7	24.8

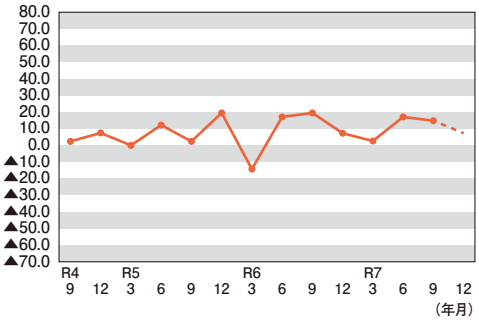
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	52.4	53.3
人材を確保する	41.0	40.0
販路を広げる	22.9	27.6

製造業

札幌圏（調査数41社・回答数41社・回答率100%）

業況判断DIの推移



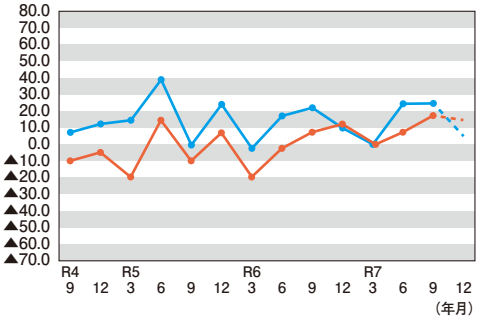
コメント

○業況判断DI～低下↓

・今期は14.6と前期から2.5ポイント低下した。

・来期は今期から7.3ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～横ばい→

・今期は24.4と前期から横ばいとなった。

・来期は今期から19.5ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は17.1と前期から9.8ポイント上昇した。

・来期は今期から2.5ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・化粧合板
資材高騰の影響により、大型建造物の建築が先送りとなっており、受注はあるものの納品できない状態が続いている。当面は売上減少傾向である。

・小麦粉
物価が上昇しているが、小麦粉の相場が低下傾向にあり値上げ交渉ができない現状にある。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
人手不足	46.3
原材料高	43.9
売上の停滞・減少	24.4

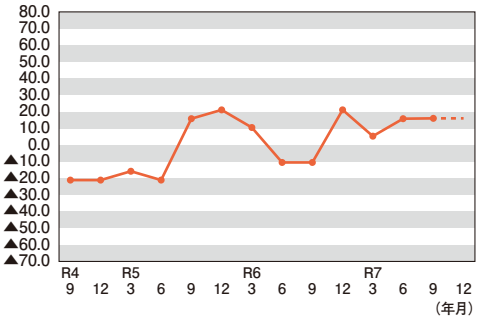
当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	51.2
販路を広げる	41.5
人材を確保する	41.5

設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	12.2
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.1

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数19社・回答数19社・回答率100%）

業況判断DIの推移



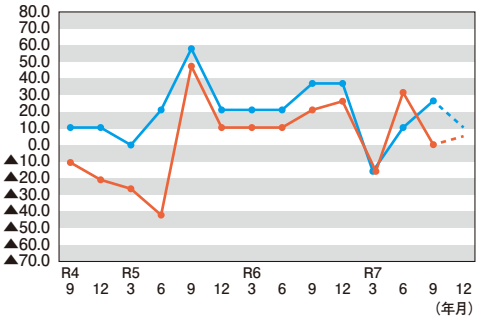
コメント

○業況判断DI～横ばい→

・今期は15.8ポイントと前期から横ばいとなった。

・来期は15.8ポイントと横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は26.3と前期から15.8ポイント上昇した。

・来期は今期から15.8ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

・今期は0.0と前期から31.6ポイント低下した。

・来期は今期から5.3ポイント上昇の見通し。

企業のコメント

・パン・コーヒー製造販売
原材料の仕入単価の上昇により、利益確保に苦戦している。

・アスパラ、馬鈴薯、ブロッコリー
人件費や資材高騰で収益が減少傾向である。作物は今のところ良くも悪くもなく、まずまずの状況である。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
原材料高	63.2
人手不足	26.3
利幅の縮小	26.3

当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	57.9
販路を広げる	36.8
人材を確保する	31.6

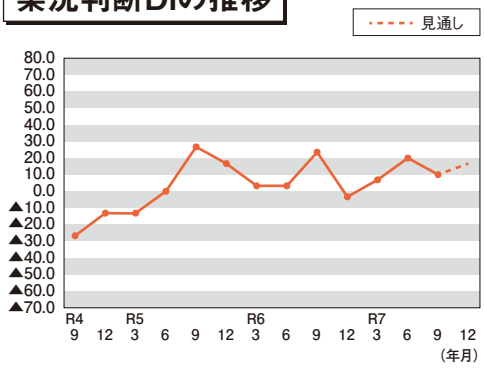
設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	5.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

（不動産、機械、事務機器、車両等）

卸売業

札幌圏（調査数30社・回答数30社・回答率100%）

業況判断DIの推移



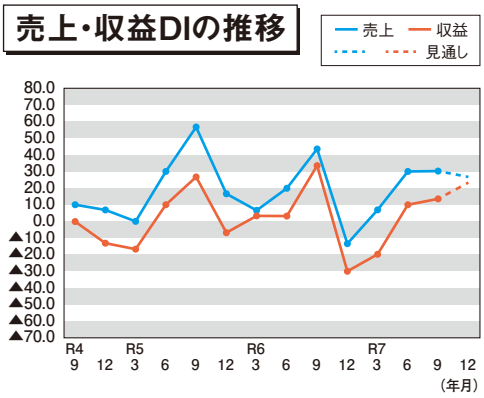
コメント

○業況判断DI～低下↓

・今期は10.0と前期から10.0ポイント低下した。

・来期は今期から6.7ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～横ばい→

・今期は30.0と前期から横ばいとなった

・来期は今期から3.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は13.3と前期から3.3ポイント上昇した。

・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・果物

関税や為替相場の影響は感じていないが、気候変動の影響を受けている。果物生産量の減少や物価高騰に伴う単価増により、利幅確保のため、販売先への価格交渉を継続している。

・香料

仕入価格上昇するも販売価格へ転嫁できており、収益は安定に推移している。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
仕入先からの値上げ要請	43.3
同業者間の競争激化	33.3
売上の停滞・減少	30.0

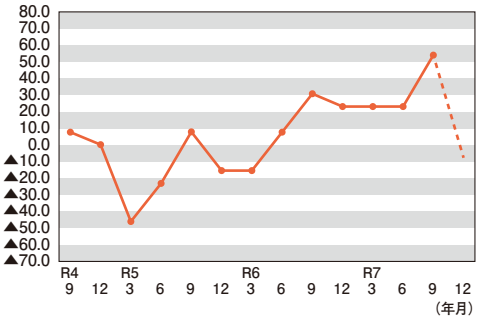
当面の重点施策（複数回答）(%)	
販路を広げる	70.0
経費を節減する	43.3
情報力を強化する	26.7

設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	6.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	3.3

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数13社・回答数13社・回答率100%）

業況判断DIの推移



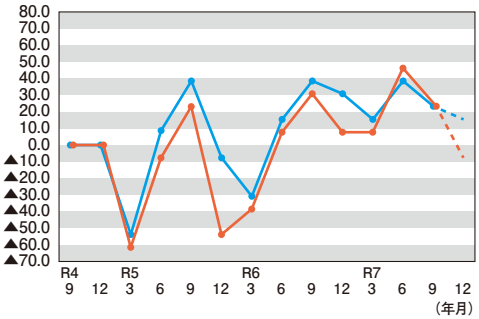
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は53.8と前期から30.7ポイント上昇した。

・来期は今期から61.5ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下↓

・今期は23.1と前期から15.4ポイント低下した。

・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

・今期は23.1と前期から23.1ポイント低下した。

・来期は今期から30.8ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・カニ他海産物

取引先の動き出しが悪く売上は減少したが、仕入価格の増加分を価格転嫁できており利益を確保している。9月も好調を見込んでおり業況はやや良い。

・事務用品全般

官公庁からの受注は安定しているが、小口の案件が多く売上は横ばいである。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
仕入先からの値上げ要請	53.8
利幅の縮小	38.5
売上の停滞・減少	30.8

当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	69.2
販路を広げる	38.5
人材を確保する	38.5

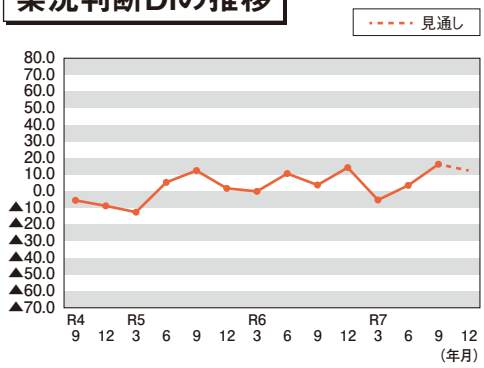
設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	15.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.7

（不動産、機械、事務機器、車両等）

小売業

札幌圏（調査数56社・回答数56社・回答率100%）

業況判断DIの推移



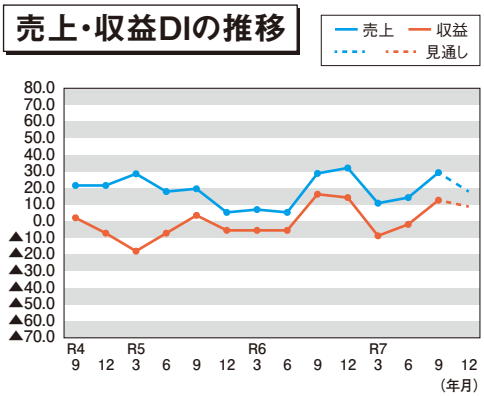
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は16.1と前期から12.5ポイント上昇した。

・来期は今期から3.6ポイント低下の見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は29.1と前期から14.8ポイント上昇した。

・来期は17.9と前期から11.2ポイント低下の見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は12.5と前期から14.3ポイント上昇した。

・来期は今期から3.6ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・お茶販売

他店では取り扱っていない商品を増やしたことで、一定の固定客を確保しており安定推移している。しかし、人件費の上昇が続いているので、これを機に価格転嫁を図る予定である。

・飲食料品

物価高の影響を受け値上げが続いているものの、在庫を調整することにより利益を確保している。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
同業者間の競争激化	30.4
利幅の縮小	30.4
人手不足	28.6

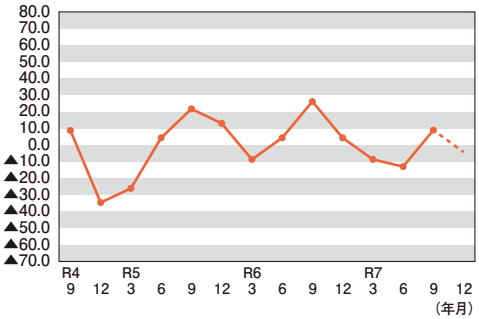
当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	50.0
宣伝・広告を強化する	30.4
人材を確保する	28.6

設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	10.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.7

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数23社・回答数23社・回答率100%）

業況判断DIの推移



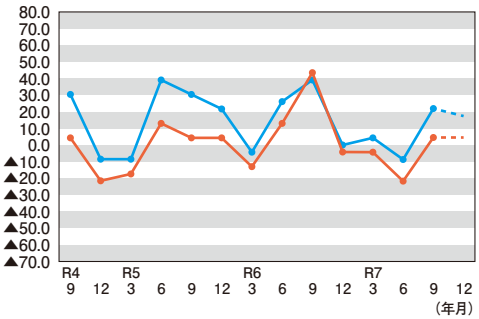
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は8.7と前期から21.7ポイント上昇した。

・来期は今期から13.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は21.7と前期から30.4ポイント上昇した。

・来期は今期から4.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は4.3と前期から26.0ポイント上昇した。

・来期は4.3ポイントと横ばいの見通し。

企業のコメント

・家電製品

エアコンの販売、取付が夏季需要として今年も大きく売上好調であった。銅が値上がりしており部材費は増加傾向にあるが、価格転嫁はできている。

・コンビニエンスストア

仕入価格の高騰分を販売価格に転嫁できている。冬場のインバウンド需要にむけて、人材の確保が課題。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
商圏人口の減少	60.9
人手不足	26.1
利幅の縮小	26.1

当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	60.9
売筋商品を取扱う	30.4
人材を確保する	30.4

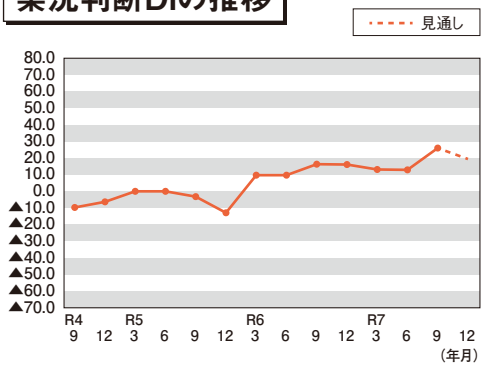
設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	21.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	4.3

（不動産、機械、事務機器、車両等）

サービス業

札 幌 圏（調査数31社・回答数31社・回答率100%）

業況判断DIの推移



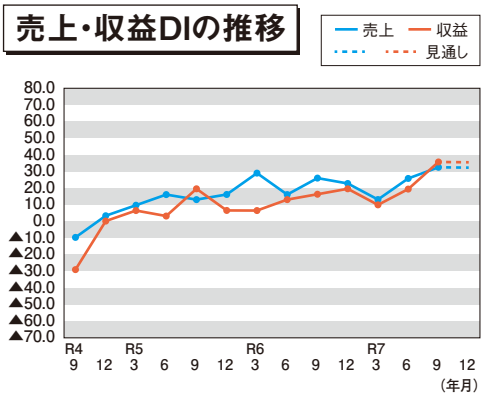
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は25.8と前期から12.9ポイント上昇した。

・来期は今期から6.4ポイント低下の見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は32.3と前期から6.5ポイント上昇した。

・来期は32.3ポイントと横ばいの見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は35.5と前期から16.1ポイント上昇した。

・来期は35.5ポイントと横ばいの見通し。

企業のコメント

・飲食業

物価上昇の影響により原材料費が高騰しているため、内容量変更や価格改定に取組んで一定の収益確保に努めている。人手不足についても外国人労働者の受入れで解消に取組み安定してきている。

・旅館、宿泊、温泉

外国人観光客による売上が増加傾向にあり、地域の活性化に向けて様々な活動を続けている。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
人件費の増加	41.9
同業者間の競争激化	35.5
売上の停滞・減少	29.0

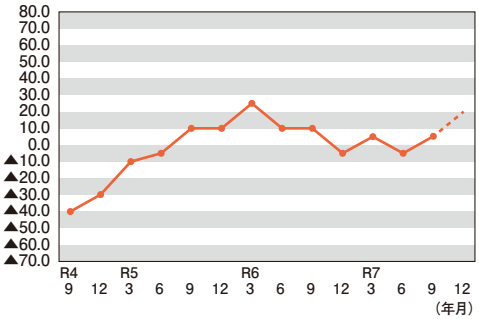
当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	41.9
販路を広げる	38.7
宣伝・広告を強化する	22.6

設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	12.9
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	16.1

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後 志 圏（調査数20社・回答数20社・回答率100%）

業況判断DIの推移



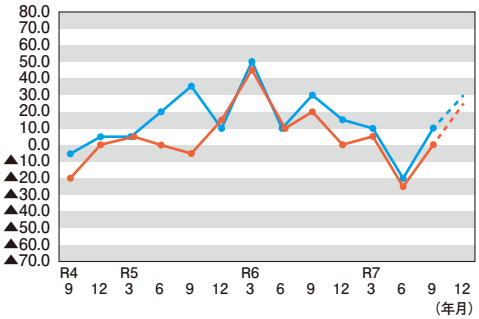
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は5.0と前期から10.0ポイント上昇した。

・来期は今期から15.0ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は10.0と前期から30.0ポイント上昇した。

・来期は今期から20.0ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は0.0と前期から25.0ポイント上昇した。

・来期は今期から25.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・自動車整備、販売

車の販売が好調。材料価格の上昇により、やや販売価格も上昇している。

・ビジネスホテル

長期宿泊者の増加により満室状態であり、業況は良好に推移している。今後5年程度は続く見込みである。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
人手不足	50.0
材料価格の上昇	45.0
売上の停滞・減少	30.0

当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	60.0
販路を広げる	40.0
人材を確保する	40.0

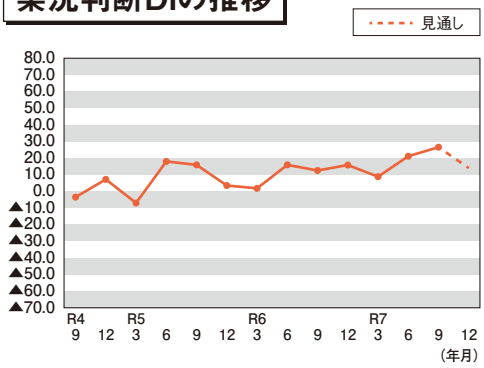
設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	10.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.0

（不動産、機械、事務機器、車両等）

建設業

札幌圏（調査数57社・回答数57社・回答率100%）

業況判断DIの推移



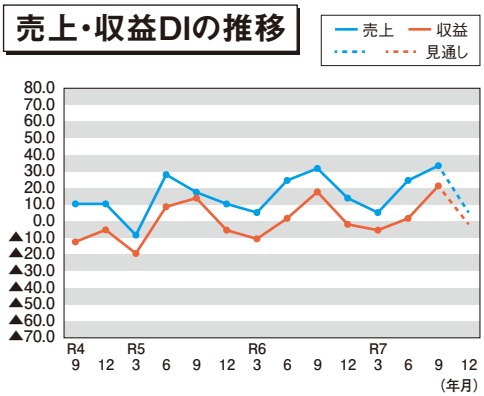
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は26.3と前期から5.2ポイント上昇した。

・来期は今期から12.3ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇↑

・今期は33.3と前期から8.7ポイント上昇した。

・来期は今期から28.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は21.1と前期から19.3ポイント上昇した。

・来期は今期から22.9ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・土木工事（道路舗装）
インフラの老朽化から道路補修工事の需要は依然として高く、売上は安定に推移。輸送コスト及び材料費の増加分についても価格転嫁できている。

・内装工事
原材料高騰の影響はあるが、素早い値上げ交渉等の管理体制が構築できている。今後も業況は順調に推移すると考えている。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
材料価格の上昇	56.1
人手不足	45.6
人件費の増加	26.3

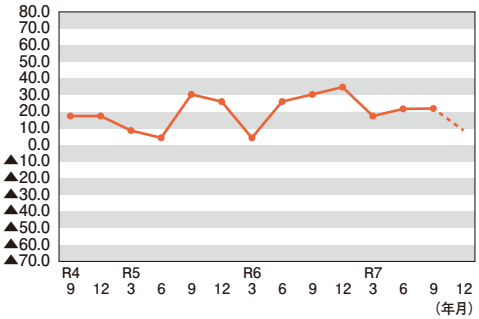
当面の重点施策（複数回答）(%)	
経費を節減する	56.1
人材を確保する	49.1
販路を広げる	26.3

設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	15.8
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	14.0

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数23社・回答数23社・回答率100%）

業況判断DIの推移



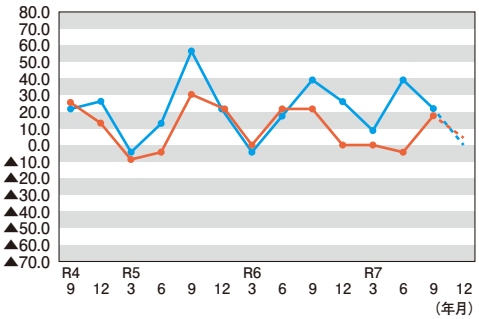
コメント

○業況判断DI～横ばい→

・今期は21.7ポイントと前期から横ばいとなった。

・来期は今期から13.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下↓

・今期は21.7と前期から17.4ポイント低下した。

・来期は今期から21.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

・今期は17.4と前期から21.7ポイント上昇した。

・来期は今期から13.1ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・土木工事業
札幌オリンピック開催が見送りとなり、公共工事発注のスピード感が落ちたように感じる。また、一件あたりの規模も縮小しており、売上減少が見込まれる。

・リフォーム工事
個人向けのリフォームを中心に行っており受注に大きな変化はない。猛暑の影響もあり、窓を断熱、省エネ性能に優れたものに変更する人が例年より多い。

経営上の問題点（複数回答）(%)	
人手不足	73.9
材料価格の上昇	65.2
利幅の縮小	26.1

当面の重点施策（複数回答）(%)	
人材を確保する	65.2
経費を節減する	39.1
技術力を高める	30.4

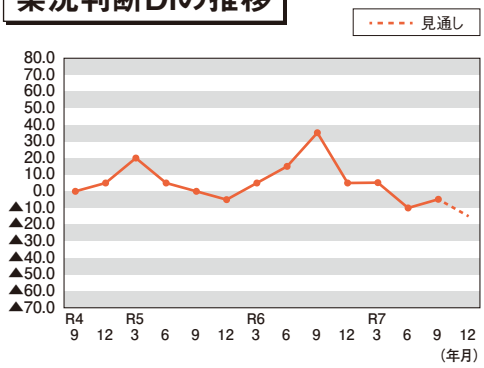
設備投資動向	(%)
今期設備投資を実施した	17.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	26.1

（不動産、機械、事務機器、車両等）

不動産業

札幌圏（調査数20社・回答数20社・回答率100%）

業況判断DIの推移



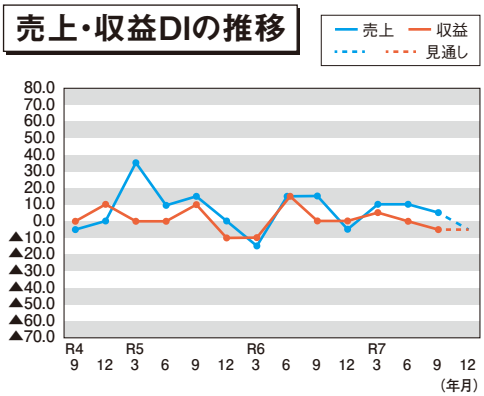
コメント

○業況判断DI～上昇↑

・今期は▲5.0と前期から5.0ポイント上昇した

・来期は▲15.0と今期から▲10.0ポイント低下の見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下↓

・今期は5.0と前期から5.0ポイント低下した。

・来期は今期から10.0ポイント低下の見通し。

○収益DI～低下↓

・今期は▲5.0と前期から5.0ポイント低下した。

・来期は▲5.0ポイントと横ばいの見通し。

企業のコメント

・不動産売買

住宅ローンの金利上昇や販売価格の上昇が影響し、不動産の買い手が減少しており、減収傾向となっている。今後、ターゲットの再設定を行い改善を図りたい。

・住宅建築、リフォーム

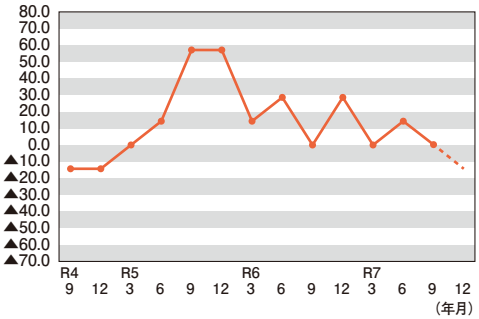
建物単価の高止まりから住宅新築の低迷が続いているも、リフォーム等の高収益事業に特化することで利益確保に努めている。

経営上の問題点（複数回答）（%）	
商品物件の高騰	40.0
売上の停滞・減少	30.0
問題なし	25.0

当面の重点施策（複数回答）（%）	
経費を節減する	45.0
情報力を強化する	45.0
販路を広げる	30.0

後志圏（調査数7社・回答数7社・回答率100%）

業況判断DIの推移



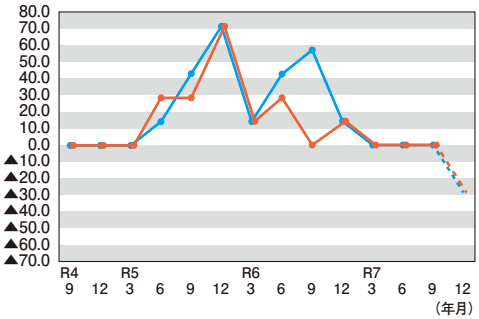
コメント

○業況判断DI～低下↓

・今期は0.0と前期から14.3ポイント低下した。

・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～横ばい→

・今期は0.0ポイントと前期から横ばいとなった。

・来期は今期から28.6ポイント低下する見通し。

○収益DI～横ばい→

・今期は0.0ポイントと前期から横ばいとなった。

・来期は今期から28.6ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・不動産

不動産価格が高止まりしており、動向はやや鈍化している。

・不動産仲介

物件が高騰しており、仕入れができない状況にある。また同業者間の競争が激しくなっている。

経営上の問題点（複数回答）（%）	
商品物件の不足	57.1
売上の停滞・減少	42.9
同業者間の競争激化	42.9

当面の重点施策（複数回答）（%）	
情報力を強化する	57.1
販路を広げる	28.6
宣伝・広告を強化する	28.6

特別調査

「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営」

回答数340社（札幌圏・後志圏）　回答率100%

問1

トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増しています。こうした動きを受けて、貴社の売上にこれまで影響がありましたか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、今後の売上に影響があると予想しますか。次の6～10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
これまでの売上							
1. 大いに悪影響があった	5.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.5%
2. 多少の悪影響があった	18.3%	18.6%	21.5%	17.6%	10.0%	14.8%	16.8%
3. 特に影響がなかった	60.0%	72.1%	68.4%	64.7%	71.3%	66.7%	67.4%
4. むしろ良い影響があった	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
5. わからない	16.7%	7.0%	8.9%	17.6%	17.5%	18.5%	14.1%
今後の売上							
6. 大いに悪影響があると予想する	5.0%	0.0%	2.5%	5.9%	1.3%	0.0%	2.6%
7. 多少の悪影響があると予想する	26.7%	37.2%	35.4%	25.5%	18.8%	22.2%	27.6%
8. 特に影響がないと予想する	46.7%	48.8%	44.3%	45.1%	56.3%	59.3%	49.4%
9. むしろ良い影響があると予想する	0.0%	2.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
10. わからない	21.7%	11.6%	16.5%	23.5%	23.8%	18.5%	19.7%

0　10　20　30　40　50　60　70

問2

中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。あてはまるものを次の1～10の中から3つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 中国企業や個人向け売上の減少	6.7%	7.0%	8.9%	5.9%	0.0%	18.5%	6.5%
2. 中国と取引のある元請け企業からの受注減少	3.3%	9.3%	0.0%	2.0%	5.0%	0.0%	3.2%
3. 中国からの輸入コストの上昇	11.7%	11.6%	11.4%	3.9%	5.0%	0.0%	7.9%
4. 中国製品との価格競争の激化	1.7%	14.0%	7.6%	3.9%	7.5%	0.0%	6.2%
5. 原材料・部品・商品等の調達難	21.7%	20.9%	16.5%	23.5%	15.0%	7.4%	17.9%
6. 売掛金回収リスクの増大	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	7.4%	1.5%
7. 為替変動による収益の悪化	3.3%	2.3%	2.5%	5.9%	0.0%	3.7%	2.6%
8. 中国人労働者の増加	3.3%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	7.4%	2.9%
9. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 特に影響を見込んでいない	58.3%	53.5%	62.0%	66.7%	73.8%	66.7%	64.1%

0　10　20　30　40　50　60　70

問3

今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の貴社にとって望ましい水準について、次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響について、次の6～10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
為替							
1. 現状より円高傾向が望ましい	40.0%	34.9%	32.9%	17.6%	18.8%	25.9%	28.2%
2. 現状程度が望ましい	10.0%	16.3%	12.7%	21.6%	11.3%	18.5%	14.1%
3. 現状より円安傾向が望ましい	8.3%	4.7%	10.1%	5.9%	5.0%	0.0%	6.5%
4. 自社には関係ない	20.0%	25.6%	13.9%	35.3%	36.3%	37.0%	26.8%
5. わからない	21.7%	18.6%	30.4%	19.6%	28.8%	18.5%	24.4%
物価上昇							
6. 良い影響をもたらしている	3.3%	2.3%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.5%
7. どちらともいえない	23.3%	39.5%	29.1%	25.5%	32.5%	29.6%	29.7%
8. 悪い影響をもたらしている	53.3%	41.9%	53.2%	51.0%	37.5%	29.6%	45.9%
9. 自社には関係ない	5.0%	7.0%	1.3%	11.8%	7.5%	18.5%	7.1%
10. わからない	15.0%	9.3%	15.2%	11.8%	21.3%	22.2%	15.9%

0 10 20 30 40 50

問4

不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組はありますか。次の1～10の中から3つ以内で選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 事業の多角化	5.0%	2.3%	8.9%	13.7%	8.8%	3.7%	7.6%
2. 新規顧客の開拓	33.3%	41.9%	21.5%	25.5%	17.5%	14.8%	25.3%
3. 既存顧客との関係強化	31.7%	46.5%	26.6%	39.2%	27.5%	25.9%	32.1%
4. 新商品･サービスの開発	20.0%	2.3%	15.2%	9.8%	3.8%	3.7%	10.0%
5. デジタル化の推進	10.0%	11.6%	7.6%	13.7%	12.5%	7.4%	10.6%
6. 従業員教育の強化	23.3%	16.3%	20.3%	43.1%	37.5%	11.1%	27.1%
7. 資金繰りの見直し	18.3%	23.3%	15.2%	15.7%	20.0%	14.8%	17.9%
8. コスト削減	50.0%	48.8%	48.1%	47.1%	47.5%	44.4%	47.9%
9. その他	1.7%	0.0%	1.3%	2.0%	0.0%	0.0%	0.9%
10. 特にない	3.3%	4.7%	12.7%	5.9%	7.5%	22.2%	8.5%

0 10 20 30 40 50

問5

不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて、次の1～10の中から3つ以内で選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 担当者の訪問回数の増加	6.7%	14.0%	11.4%	17.6%	12.5%	14.8%	12.4%
2. 担当者訪問時の滞在時間の延長	1.7%	2.3%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.2%
3. 担当者交代時の丁寧な引継ぎ	18.3%	25.6%	8.9%	21.6%	17.5%	25.9%	17.9%
4. 担当者の頻繁な人事異動がないこと	20.0%	34.9%	19.0%	29.4%	26.3%	25.9%	25.0%
5. 支店窓口での相談機能の強化	10.0%	4.7%	11.4%	11.8%	16.3%	7.4%	11.2%
6. インターネットバンキング等の非対面チャネル充実	18.3%	9.3%	29.1%	7.8%	6.3%	14.8%	15.0%
7. 金融機関の本部専担者･外部専門家による支援	20.0%	23.3%	16.5%	23.5%	21.3%	18.5%	20.3%
8. 要望に対する迅速な対応	41.7%	51.2%	35.4%	35.3%	36.3%	29.6%	38.2%
9. その他	1.7%	0.0%	2.5%	0.0%	1.3%	0.0%	1.2%
10. 特に期待していない	10.0%	7.0%	10.1%	13.7%	20.0%	3.7%	12.1%

0 10 20 30 40 50